

Ⅲ 環境教育活動の実施

1 環境教育の手法

赤谷センターが実施する環境教育の手法としては、主に以下の内容のものがあり、学校等教育関係者の要望を聞きつつ、適宜組み合わせ実施しています。

項目	概要
野生動物の行動調査の実習	<p>動物の体温を感知してシャッターが切れるカメラ（センサーカメラ）で撮影した写真を見せながら、野生動物の行動、森林と野生動物のとの関わりを解説しています。センサーカメラの使用方法を教えた後に、1班につき1台のセンサーカメラを野生動物が現れそうだと考えたところへ設置してもらいます。</p> <p>後日、撮影したフィルムを現像し、コメントと共に学校へ郵送しています。</p>
自然観察路等を活用した自然散策	<p>「いきもの村」に整備された約1.3kmの自然観察路や小出俣林道を活用した自然観察を実施します。</p> <p>歩きながら、樹木、植物、野生動物の痕跡等について見るだけでなく、においを嗅いだり、手で触ったりするなど五感を使って自然を学んでもらいます。</p>
観察器具を使用した野鳥観察	<p>観察器具（双眼鏡、フィールドスコープ）を使用した野鳥観察です。</p> <p>「いきもの村」では、シジュウカラ、ヒヨドリ等の小鳥から、クマタカ、オオタカ等の猛禽類まで様々な野鳥を観察することができます。</p>
赤谷プロジェクトの説明	<p>赤谷プロジェクトの様々な調査研究等の取組について知ってもらうため、プロジェクターによる映像等を活用してプロジェクトの紹介をしています。</p>
その他	<p>「いきもの村」周辺の散策をしながら植物の説明をした後、しおり（押し葉）作りを実施します。</p>